

富山湾水産物輸出バリューチェーン構築改善協議会

■取組の背景

- 平成30年より、一定の条件を満たした鮮魚のインド向け輸出が可能となったことを受け、インドを対象とした販路拡大を打ち出し、試験輸出やイベントの開始等を進めていた。

■取組の目的

- 富山湾産水産物のインド向け販路拡大
- 産地における流通効率化
- 輸出に係る作業の効率化

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	役割
事業実施者	生産	とやま市漁業協同組合	・システム構築に対する協力 ・各種データの提供
	流通加工 輸出	有限会社ジェイスコーポレーション	・販売段階の取組
	加工流通	有限会社魚河岸	・加工品の企画・製造
	システム 開発	株式会社JMFITサービス	・システムに係る検討 ・プロトタイプ運用 ・現地マーケティングの実施
	システム 開発	株式会社エム・ソフト	・システムに係る検討 ・プロトタイプ運用 ・海外配送システムの実証

■取組内容

生産

◆産地における流通を効率化するシステム構築

- 関係者間での連携>流通効率化システムの構築に向け、生産者や市場関係者等による連携体制を確立
- 市場関係情報をリアルタイムで共有するシステムの構築>市場関係の各種情報を関係者間でリアルタイムに共有可能なシステムを構築
- 遠隔入札システムの導入>生産者との協力により、遠隔入札システムの導入・運用を目指す

加工・流通

◆富山県産水産物のインド向け輸出販路開拓

- 現地マーケティングの実施>インド国内における水産物の流通・消費状況を調査し、輸出品目の検討等を実施
- 現地バイヤーの訪日プロモーション>現地の水産物バイヤーを日本に招聘し、日本産水産物の魅力や優位性をPRするとともに、現地バイヤーのニーズ調査を実施
- PRイベントや試験出荷の実施>インド向け試験出荷を実現するとともに、現地大使館等と連携して日本産水産物のPRイベントを企画・開催

輸出

◆水産物の輸出に係る作業の効率化と電子通関対応

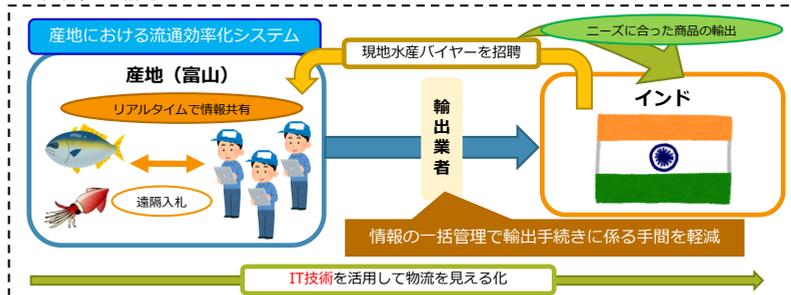
- 輸出に関する手続きの簡略化>電子システムの活用で通関申告から輸出に至る手続きを大幅に簡略化
- 「見える化」された物流の構築>IT技術を活用し、荷受・販売・海外配送を一括して管理可能な品質や価格等が「見える化」された物流を構築
- 広範な事業者の参入促進>通関申告手続きのシステム管理により、輸出に関する実務を大幅に簡便化し、結果として多くの仲買人や加工業者が参入可能な環境を整備

富山県産水産物のインド向け輸出販路開拓

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- 輸出先であるインド現地における試食会を開催し、富山湾産水産物に対する一定の評価を獲得。
- セリ・入札における電子システムの導入を進めている。

★本取組によって得られたバリュー★

AI・DXの活用（課題解決）	産地における流通の効率化を図るシステム構築
販路開拓	富山湾産水産物のインド向け輸出販路開拓
作業効率化	輸出に係る作業の簡略化と電子通関対応